

## 平成23年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 タウンニュース社  
 コード番号 2481 URL <http://www.townnews.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇山 知成  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 田中 昌克  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 045-913-4111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年6月期第2四半期の業績(平成22年7月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第2四半期	1,461	3.4	140	74.9	144	69.0	75	447.8
22年6月期第2四半期	1,413	△0.3	80	△5.5	85	△3.8	13	△73.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第2四半期	13.75	—
22年6月期第2四半期	2.51	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第2四半期	2,584	1,996	77.2	361.67
22年6月期	2,574	1,975	76.7	357.91

(参考) 自己資本 23年6月期第2四半期 1,996百万円 22年6月期 1,975百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年6月期	—	0.00	—	—	—
23年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年6月期の業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	4.0	235	26.0	238	22.8	130	70.9	23.71

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年6月期2Q 5,575,320株 22年6月期 5,575,320株

② 期末自己株式数 23年6月期2Q 54,686株 22年6月期 54,600株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年6月期2Q 5,520,696株 22年6月期2Q 5,520,720株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(第2四半期累計期間) .....	6
(第2四半期会計期間) .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激策の効果や中国をはじめとした新興国の経済成長に牽引され、全体としてゆるやかな回復基調になりました。しかしながら、雇用環境は依然として厳しく、急激な円高の進行もあり、景気の先行きはなお不透明な状況で推移しました。

広告業界はここ数年来インターネットを中心とした分野で広告の売上高が順調に拡大する一方、紙媒体は広告出稿数の減少や価格競争の激化により売上高が減少する状況が続いております。当社が属するフリーペーパー業界におきましても、一部企業で業績回復傾向が見られるものの、発行地区版数や発行頻度を減少するなど、経営規模の縮小化を進める企業もあるなど、相変わらず厳しい経営環境が続いています。

このような経営環境のなか、当社は、引き続き媒体価値を高めつつ既存発行版の深耕に注力するとともに、紙面に掲載した街の話題やニュース、記事広告がパソコンと携帯端末でも見られるインターネットによる「Web版タウンニュース」の営業を積極的に推進しました。

その結果、タウンニュース事業部門全体で広告受注単価のアップが図られ、売上を拡大することができました。

その他事業部門の出版・印刷部の売上高は、自費出版の受注件数が増加し、前年同期を僅かながら上回りました。

利益面では、タウンニュース事業部門の売上高が増加する一方、売上原価や販管費を抑えた結果、営業利益・経常利益・四半期純利益ともに、前年同期を大幅に上回りました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,461百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は140百万円（前年同期比74.9%増）、経常利益は144百万円（前年同期比69.0%増）、四半期純利益は75百万円（前年同期比447.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産・負債の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ10百万円増加し、2,584百万円となりました。これは主に、現金及び預金が48百万円、受取手形及び売掛金が25百万円、有価証券が100百万円減少しましたが、投資その他の資産が183百万円増加したことによるものであります。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末に比べ10百万円減少し、588百万円となりました。これは主に、未払法人税等が4百万円、その他の流動負債が22百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が21百万円、長期未払金が15百万円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ20百万円増加し、1,996百万円となりました。これは利益剰余金の増加によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年事業年度末に比べ90百万円減少し、581百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、117百万円（前年同期比22.2%増）となりました。

これは主に、税引前四半期純利益（132百万円）、減価償却費（20百万円）、売上債権の減少（25百万円）等の増加要因が、長期未払金の減少（15百万円）、仕入債務の減少（21百万円）、法人税等の支払（39百万円）等の減少要因を上回ったことによるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、153百万円（前年同期比85.3%増）となりました。

これは主に、有価証券償還による収入（100百万円）があったものの、定期預金の預入による支出（60百万円）、有形固定資産の取得による支出（10百万円）、投資有価証券の取得による支出（200百万円）等によるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、55百万円（前年同期とはほぼ同額）となりました。

これは主に配当金の支払額（55百万円）であります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間は当初の業績予想を上回り、1月31日発表の「平成23年6月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」で修正しております。通期の業績予想につきましては、当社を取り巻く経営環境が依然として不透明であるため、平成22年8月13日に公表いたしました「平成22年6月期決算短信（非連結）」の業績予想に変更はございません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の営業利益および経常利益は、それぞれ181千円減少し、税引前四半期純利益は3,115千円減少しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	986,878	1,035,501
受取手形及び売掛金	191,547	217,032
有価証券	—	100,074
仕掛品	17,817	12,990
原材料及び貯蔵品	252	320
その他	63,244	64,281
貸倒引当金	△5,361	△4,994
流動資産合計	1,254,379	1,425,206
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	240,064	237,815
土地	449,341	449,341
その他（純額）	43,714	47,049
有形固定資産合計	733,121	734,207
無形固定資産		
投資その他の資産	56,803	58,626
その他	552,746	370,412
貸倒引当金	△12,253	△13,863
投資その他の資産合計	540,492	356,549
固定資産合計	1,330,417	1,149,383
資産合計	2,584,796	2,574,589
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,919	67,426
未払法人税等	51,136	46,298
賞与引当金	22,877	22,935
その他	213,514	190,651
流動負債合計	333,447	327,311
固定負債		
長期未払金	100,528	115,966
退職給付引当金	154,168	155,380
固定負債合計	254,696	271,346
負債合計	588,143	598,658

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,375	501,375
資本剰余金	481,670	481,670
利益剰余金	1,028,056	1,007,316
自己株式	△14,449	△14,432
株主資本合計	1,996,652	1,975,930
純資産合計	1,996,652	1,975,930
負債純資産合計	2,584,796	2,574,589

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,413,898	1,461,425
売上原価	564,900	557,744
売上総利益	848,998	903,680
販売費及び一般管理費	768,565	763,031
営業利益	80,432	140,649
営業外収益		
受取利息	2,842	966
助成金収入	—	600
その他	2,166	2,197
営業外収益合計	5,009	3,764
営業外費用		
支払利息	—	7
営業外費用合計	—	7
経常利益	85,441	144,406
特別利益		
貸倒引当金戻入額	798	—
特別利益合計	798	—
特別損失		
固定資産売却損	—	54
固定資産除却損	4,742	—
減損損失	31,450	—
退職特別加算金	—	8,600
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,934
特別損失合計	36,192	11,588
税引前四半期純利益	50,047	132,817
法人税、住民税及び事業税	40,155	46,149
法人税等調整額	△3,974	10,721
法人税等合計	36,181	56,870
四半期純利益	13,865	75,946

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	692,961	727,858
売上原価	283,033	276,817
売上総利益	409,927	451,040
販売費及び一般管理費	388,194	378,521
営業利益	21,732	72,519
営業外収益		
受取利息	1,027	248
その他	1,636	820
営業外収益合計	2,664	1,068
営業外費用		
支払利息	—	7
営業外費用合計	—	7
経常利益	24,397	73,580
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,521	—
特別利益合計	1,521	—
特別損失		
減損損失	31,450	—
特別損失合計	31,450	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△5,531	73,580
法人税、住民税及び事業税	△1,713	11,000
法人税等調整額	13,616	19,378
法人税等合計	11,903	30,379
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△17,435	43,201

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	50,047	132,817
減価償却費	20,392	20,370
減損損失	31,450	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,570	△1,242
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△706	△58
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,513	△1,212
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	△15,438
受取利息及び受取配当金	△2,842	△892
支払利息	—	7
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	54
固定資産除却損	4,742	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,934
売上債権の増減額 (△は増加)	28,675	25,484
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,229	△4,759
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16,836	△21,506
その他	12,251	19,637
小計	144,346	156,196
利息及び配当金の受取額	3,097	1,185
利息の支払額	—	△7
法人税等の支払額	△51,164	△39,673
営業活動によるキャッシュ・フロー	96,279	117,701
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却及び償還による収入	—	100,000
定期預金の預入による支出	△60,524	△60,329
有形固定資産の取得による支出	△13,010	△10,942
有形固定資産の売却による収入	181	31
投資有価証券の取得による支出	—	△200,000
無形固定資産の取得による支出	△1,640	△6,210
保険積立金の払戻による収入	—	29,589
貸付けによる支出	△1,502	—
貸付金の回収による収入	160	248
その他	△6,474	△5,817
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,809	△153,429
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△17
配当金の支払額	△55,207	△55,207
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,207	△55,224
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△41,736	△90,952
現金及び現金同等物の期首残高	729,350	672,669
現金及び現金同等物の四半期末残高	687,613	581,716

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。